

2025 年 9 月 30 日

各位

株式会社富山第一銀行

堀井鉄工株式会社との
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、堀井鉄工株式会社（代表取締役社長 堀井 鉄也）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを緩和する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じた SDGs の達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することで SDGs 達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対する KPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

2. 融資概要

契 約 締 結 日	2025 年 9 月 30 日
借 入 人	堀井鉄工株式会社
融 資 金 額	300 百万円
資 金 使 途	経常運転資金
モニタリング期間	5 年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 堀井鉄工株式会社

代 表 者	代表取締役社長 堀井鉄也
本 社 所 在 地	富山県富山市八町 6059 番地 1
事 業 内 容	鉄骨・鉄筋の製造、販売
設 立 年 月	1954 年 12 月

4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取 組 内 容	安心・安全なインフラ整備を通じて地域社会への貢献
インパクトの種類	経済面のポジティブインパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「包括的で健全な経済」
関 連 S D G s	 
対 応 方 針	全体の売上を拡大するなかでも富山県内工事案件の受注を拡大し、県内の建設業界サプライチェーンに貢献する
毎年モニタリングする目標と KPI	2028 年 2 月期における売上高を 70 億円とする （2025 年 2 月期：55 億円） 2028 年 2 月期における富山県内工事売上高を 25 億円とする （直近 3 期の平均売上：約 13 億円） いずれも以降は改めて目標設定する



堀井鉄工株式会社

株式会社富山第一銀行

代表取締役社長 堀井 鉄也氏

ニューセンター支店長 土井 啓之介

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：嶋

TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：堀井鉄工株式会社



堀井鉄工株式会社

2025 年 9 月 30 日

株式会社 富山第一銀行

目次

1. はじめに.	2
2. 会社概要.	3
(1) 企業概要	
(2) 企業ロゴについて	
(3) 沿革	
(4) 組織図	
(5) バリューチェーン	
3. 事業概要.	9
(1) 鉄骨製品製造・販売事業	
(2) 太陽光発電事業	
4. 労働安全衛生・品質方針・環境方針.	16
(1) 労働安全衛生	
(2) 品質方針	
(3) 環境方針	
5. 職場環境など.	22
(1) 働き方改革の推進と従業員満足度の向上	
(2) 人材育成への取り組み	
(3) 福利厚生の実施に向けて	
6. インパクトの特定.	27
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール	
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) 富山県の政策・戦略の確認～とやま未来創生戦略との確認～	
(5) インパクトの特定	
(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
7. KPI の設定.	32
8. 管理体制とモニタリング.	35
(1) インパクトの管理体制	
(2) モニタリング方法	

1. はじめに

富山第一銀行は、堀井鉄工株式会社に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、当社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、堀井鉄工株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの抑制に向けた取り組みを支援するため、堀井鉄工株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

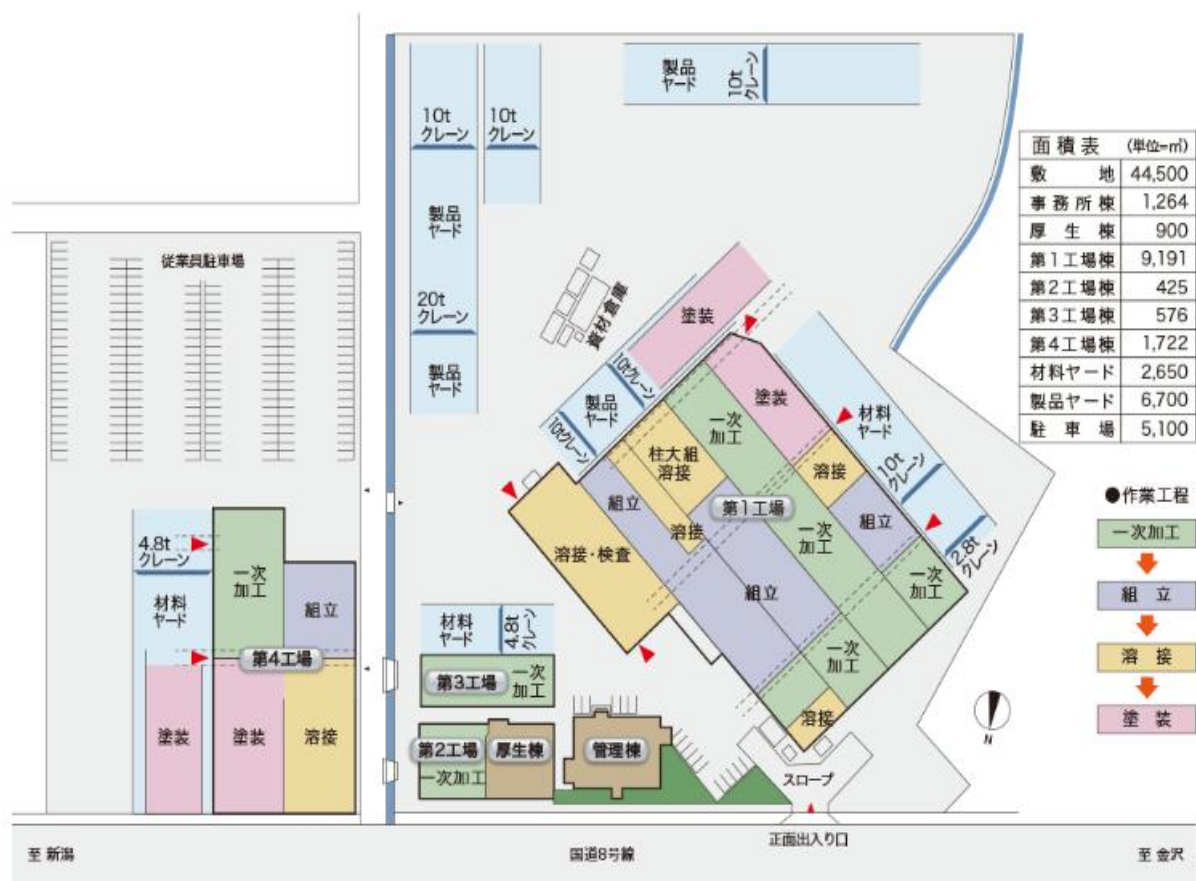
資金調達者の名称	堀井鉄工株式会社
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	融資実行日から 5 年間
金額	300 百万円
資金用途	経常運転資金

2. 会社概要

(1) 企業概要

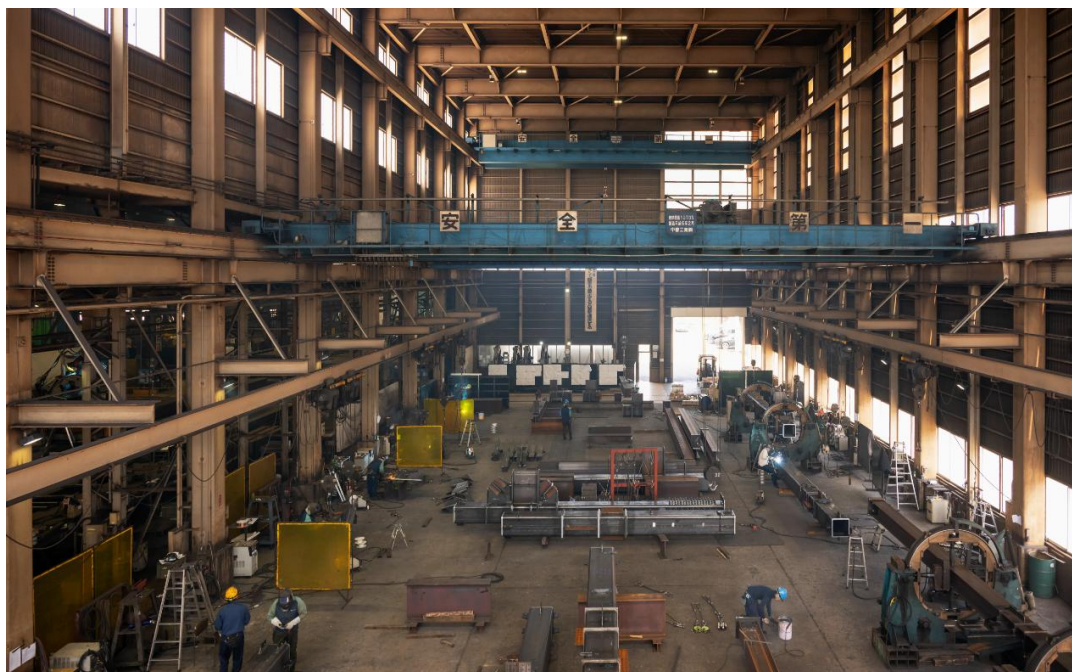
社名	堀井鉄工株式会社
代表者	代表取締役社長 堀井鉄也
本社	〒930-2226 富山県富山市八町 6059 番地 1
事業内容	鉄骨・鉄筋の製造、販売 大型鉄骨・鉄筋製品の設計、一次加工、二次加工、組立、溶接、 検査、塗装、建方までを一気通貫で対応
設立年月	1954 年 12 月 9 日
資本金	45 百万円
売上高	5,512 百万円（2025 年 2 月期）
従業員	101 名（2025 年 7 月末日時点）※役員 9 名含む
建設業許可	建設業許可 富山県知事許可（般-4）第 912 号 国土交通大臣認定工場 H グレード 認定番号 TFBH-255986
登録	ISO9001
技術者	1 級建築士 1 名 2 級建築士 2 名 1 級溶接管理技術者 7 名 2 級溶接管理技術者 6 名 超音波探傷試験技術者 8 名 建設鉄骨製品検査技術者 5 名 建設鉄骨超音波検査技術者 3 名 1 級鉄骨製作管理技術者 23 名 AW 検定有資格者（アーク溶接） 17 名
事業所一覧	【本社】 〒930-2226 富山県富山市八町 6059 番地 1 【第 1～4 工場】 〒930-2226 富山県富山市八町 6059 番地 1 【三郷工場】 〒939-3536 富山県富山市水橋金尾新 60 番 4

【第1～4工場の配置図】



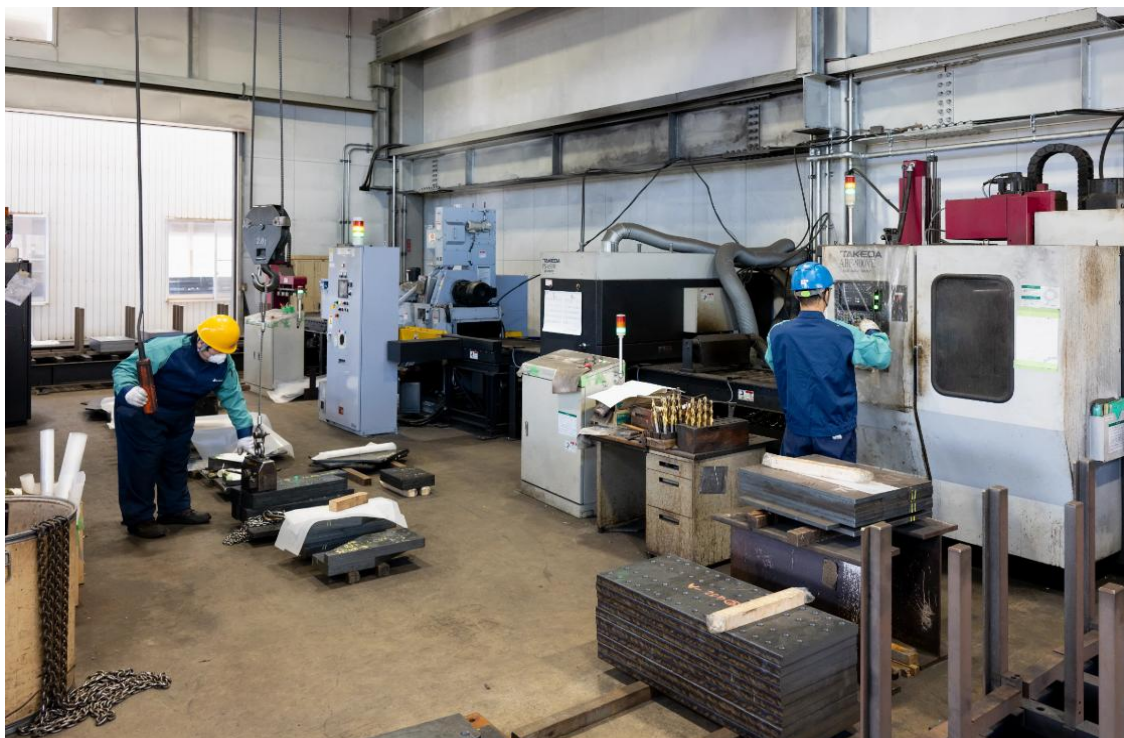
【第1工場】

柱と梁をメインに製造。H型鋼の一次加工ラインを2ライン完備。あらゆる構造物への対応力を有した工場。



【第2・3工場】

切板、アングル、軽量形鋼など、二次部材の加工工場。



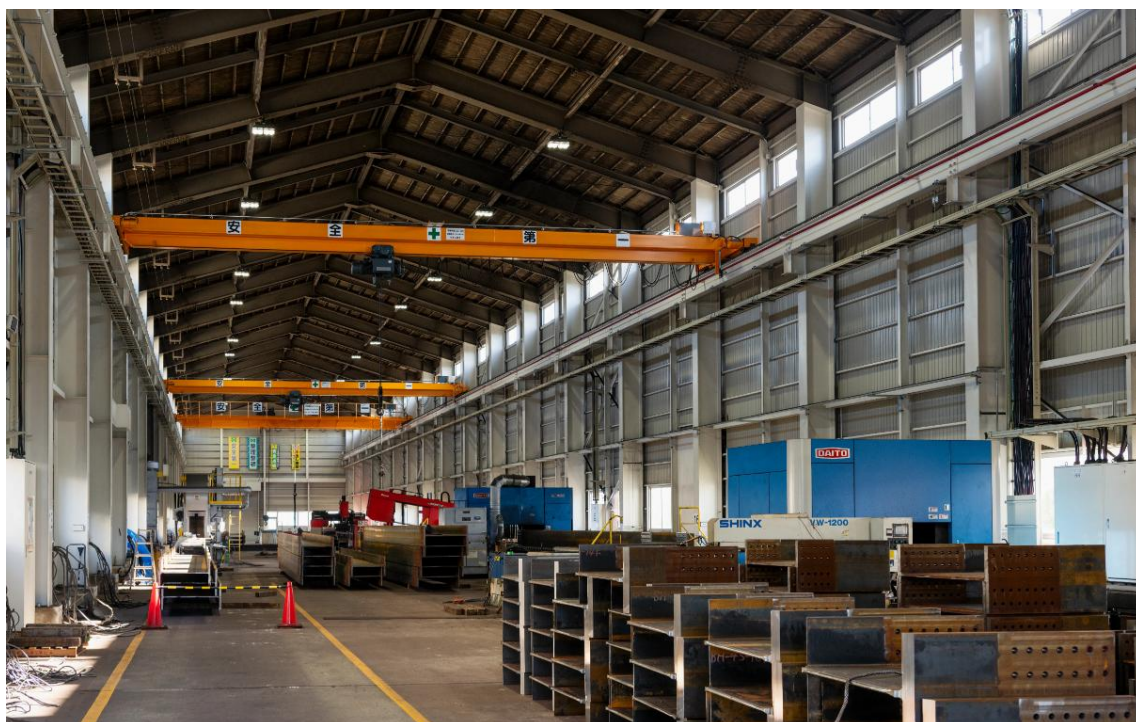
【第4工場】

第1工場では非効率となる小型のH形鋼専用の加工工場として、1次加工から生産を一貫して行い作業及び生産工程管理の効率化を実現。



【三郷工場】

2019年5月に一次加工用の工場として稼働。クレーン3基を新設し、アマダ製H形鋼自動穴明けドリルマシンと切断機のライン、シンクス製と大東精機製の加工機、ショットブラストなどの最新鋭設備を設置している。



(2) 企業ロゴについて



マークについて

マークの全体像は人を形づくっています。堀井鉄工の礎は人材であり、顧客の温かい支援です。その人を支えているのは、技術(High-Tech)、博愛(Humanity)、調和(Harmony)の3つのモチーフです。それを45度でバランスのとれた三辺を持つ二等辺三角形で表わしました。

三位一体で研鑽と努力を重ね、新世紀へ臨む堀井鉄工のたゆみない成長を表現しています。ブルーは颯爽としたスピリッツを、エメラルドグリーンは生き生きとした生命力をイメージしました。

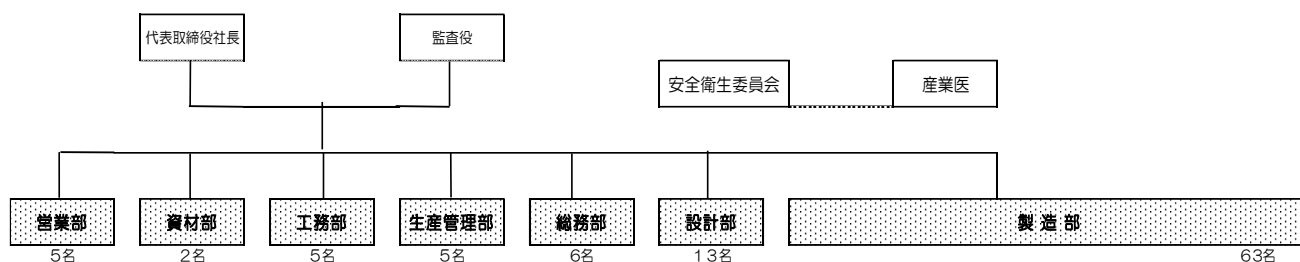
(3) 沿革

年月	概要
1930 年 6 月	富山市下新にて、堀井善次が個人経営として創業
1954 年 12 月	有限会社堀井鉄工所を設立
1969 年 1 月	堀井鉄工株式会社に改組
1971 年 7 月	富山市八町（現在地）に新工場完成移転
1984 年 11 月	堀井清一が社長に就任
1989 年 8 月	新たに敷地 3,200 m ² 拡張（総延 27,495 m ² ）
1999 年 6 月	品質 ISO9002/1994 年度版認定取得
2002 年 5 月	品質 ISO9001/2000 年度版認定取得
2004 年 5 月	堀井鉄也（現代表）が社長に就任
2005 年 10 月	新たに敷地 7,985 m ² 拡張（総延 35,480 m ² ）
2006 年 5 月	第 1 工場増築
2007 年 9 月	第 2 工場増築
2008 年 10 月	第 3 工場新築工事
2014 年 12 月	第 4 工場新築
2019 年 5 月	三郷工場を富山企業団地内に増設・稼働開始
2024 年 12 月	設立 70 周年

(4) 組織図

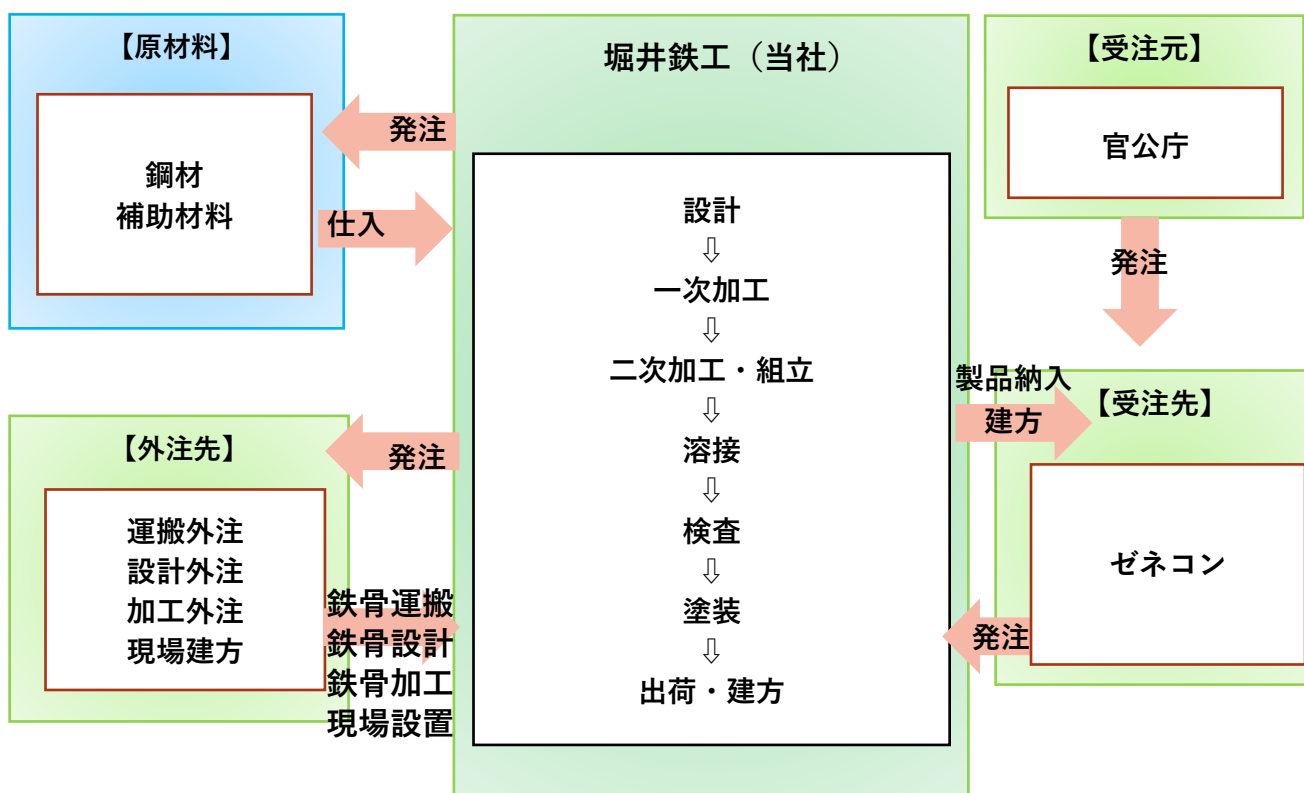
会社組織図

2025年8月26日作成



常勤役員	9名	
事務員	19名	営業部・資材部・工務部 生産管理部・総務部
常用労働者	73名	設計部・製造部
全体数	101名	

(5) バリューチェーン



【設計】

お客様との質疑応答からコンセプトをつかみ、ポイントを絞り込むことで的確な図面を作成。
最新の設備、最適な環境のもと、何より人材のクオリティが、当社の設計能力のコアとなっている。



【一次加工】

最新設備導入による作業の効率化・精密化を図り、切板の孔明け・開先加工～コラム切断・開先まで、一次加工の全てを自社加工できる豊富な設備を有している。



【二次加工・組立】

二次加工から組立までを一貫して行うことで、設計図通りの高精度な製品製造に繋がっている。



【溶接】

AW 有資格者による、品質の高い溶接と、ロボットによる効率的な溶接により、あらゆる溶接に対応。



【検査】

自主検査により、未然に不具合発生を防ぐと共に、溶接縮みなど経験値に基づくフィードバックシステムにより、品質の高い製品の提供に繋げている。



【塗装】

確実な下地処理、塗膜厚管理により、顧客の求める仕様を正確に実現し高品質な製品となる。



【出荷・建方】

北陸トップスケールの広大な製品ストックヤードを所有。
建築工程に合わせ適時に出荷し、必要に応じ建方にも柔軟に対応。



【保有設備】

お客様の幅広いニーズに対応するべく、充実した設備を取り揃えている。

	名 称	メーカー	型 式	台数
製 図	鉄骨システム	ドッドウエル B/M/S	S/F REAL4	24
	現寸実寸法師	タイワ		29
	現寸プロッター（自動製図機型紙カッティング）	東洋産業	Drastem2011MX-N	1
切 断	バンドソー（帯鋸盤 -- 形鋼・コラムなど）	アマダ	HK-1300 ～ HA25	4
	バンドソー（帯鋸盤 -- 形鋼・コラムなど）	大東精機	GTA II 8010	1
	ガス切断（鋼板）アイトレーサー	日酸タナカ	KT530GE	1
	エアープラズマ切断機	小池酸素	PNC12	1
	エアープラズマ切断機	パナソニック	080PF-3	3
孔明け	形鋼6軸高速孔明け（6BH）	アマダ	6BH-1300	1
	鋼板用（ガセットボーラー）	タケダ機械	ABP-1540GB・1015GB	2
		タケダ機械	GB-800D	1
切断・孔明け 複合機	孔明け・切断複合機	アマダ	WS1000	1
	孔明け・切断複合機	大東精機	DB3C5030	1
孔明けショット 複合機	スプライスプレートライン（搬入～搬出）	タケダ機械	ABF-900VE	1
	ドリル孔明け・バリ取り・ショットブラスト			
開 先	鋼板	ハタリー精密	KP-800Z II NS	1
		シンクス	VXW-4000 ～ 3000	2
	H形鋼専用	ハタリー精密	KHW-1360	1
		大東精機	KHR1050	1
		シンクス	MHV-1050NCA1000	1
	コラム専用	ハタリー精密	KP-800Z II NS	2
	コラム短尺専用	大東精機	KCS600	1
	H形鋼フランジ専用	ハタリー精密	HT-40NS/HT32NS	2
	H形鋼ウェブ専用	ハタリー精密	HWK-1500	1
		シンクス	VW-1200	1



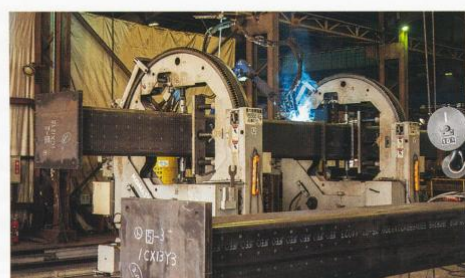
製図：現寸プロッター



切断：バンドソー



開先：H形鋼専用



溶接：溶接ロボット

	名 称	メーカー	型 式	台数
溶 接	柱大組溶接システム	コマツ	RAL20-TS6	4
	連結コラム溶接システム		RAL20-TM6	3
	柱大組立仮付け治具			1
	多層森溶接ロボット（石松）	コベルコ	IR-700MA	4
	隅肉溶接（キャリアボーイ）	日鉄住金	CBK-A-2	2
	半自動溶接機（350 A・500 A）	パナソニック		64
	半自動溶接機（350 A）	ダイヘン	M350 II	2
	ガウジング溶接機	パナソニック	YD-600GA	11
	直流・交流アーク溶接機（250 A・300 A）	パナ・日動工業		5
	発電機兼用溶接機	新ダイワ	EGW185-1	4
その他	ショットブラスト機 鋼板	新東工業	KACX- II	3
	ショットブラスト機 形鋼		KVCX- II	4
	バリ取り機	タケダ機械	PS-650W	4
	Hスケーラ	大東精機	HSE II 1040/HSW-1050	2
	ユニットワーカー（アングルなど）	タケダ機械	UWF-150S	1
	梁ケガキ用ロボット	シグマテック	HR05-300～400	3
	塗装エアレス機	精和産業	LSP-60	10
	ドリル研削機	アマダ	NCDP-50	3
検査機器	超音波探傷器	RYOSHO	U1-25	1
	サムスチールチェッカー	立花エレクトック	D-200 ・ M-100	2
	表面輪郭ゲージ	サトテック	SRT-6223	1
	塗膜厚測定器 汎用ポータブル	サンコウ電子	SL-120C	1
	塗膜厚測定器 デジタル	CUSTOM	TG-01U	2
	表面温計	SATO	SK-1110	4
クレーン	天井クレーン 2 t～20 t	日立製作所		63
	橋形クレーン 2.8 t～20 t			11
	片橋クレーン 2.8 t～4.8 t			3



超音波探傷器



橋形クレーン

【施工実績】

当社は物流施設や商業施設、公共施設などの大型鉄工構造物の建設に数多く携わってきた。以下に直近での施工実績を記載。

施工年月	工 事 名	設 計	施 工	構 造	規模(t)
2022年度	10 JR 富山駅 NK ビル	前田建設工業㈱一級建築士事務所	前田建設工業㈱	コラム H 構造	2,530
	7 富山県防災・危機管理センター	福見設計・北電技術コンサル タント設計 JV	前田建設工業㈱	コラム H 構造	2,338
	10 神保町 1-41 ビル	㈱日建設計	東洋建設㈱	コラム H 構造	398
	11 七尾ごみ処理施設	真柄建設㈱	荏原・真柄・戸田 JV	SRC・S 構造	1,696
	11 富山市中規模ホール	久米設計・押田建築設計・空 間創造研究所 JV	佐藤工業・ スター総合 JV	SRC・S 構造	1,385
	1 中滑川複合施設	㈲法澤建築デザイン事務所 / 竹ノコウ本舗構造設計室	佐藤工業㈱	コラム H 構造	598
	2 ㈱ Ci メディカル能美 LC	㈱熊谷組	㈱熊谷組	コラム H 構造	1,296
	3 富士化学工業㈱新規製剤棟	大成建設㈱北信越支店一級建 築士事務所	大成建設㈱	コラム H 構造	1,141.2
	5 東京情報デザイン専門職大学	東洋建設㈱一級建築士事務所	東洋建設㈱	コラム H 構造	1,500
	6 CBRE IM 常総	東洋建設㈱一級建築士事務所	東洋建設㈱	コラム H 構造	2,880
	9 センコー㈱金沢第 2PD センター	東洋建設㈱一級建築士事務所	東洋建設㈱	SRC・S 構造	3,834
	10 D P L 長野千曲Ⅱ	北野建設㈱一級建築士事務所	北野建設㈱	コラム H 構造	1,980
2023年度	12 関東シモハナ物流㈱岩槻第 2 センター	㈲福光設計事務所	五洋建設㈱	コラム H 構造	6,362
	1 DPR 新山下物流センター	東洋建設㈱一級建築士事務所	東洋建設㈱	コラム H 構造	1,327
	11 TMC-C3 棟バルコニーラック改造他	戸田建設㈱一級建築士事務所	戸田建設㈱	コラム H 構造	90
	2 日本梱包運輸倉庫㈱三和営業所三和倉庫	㈱大塚建築デザイン・ ㈱大島構造設計	岩村建設㈱	コラム H 構造	4,206
	6 テックウインド KAZUSA 総合センター	㈱新昭和	㈱新昭和	コラム H 構造	2,340
	6 わらべや日洋㈱新入間工場	五洋建設㈱一級建築士事務所	五洋建設㈱	コラム H 構造	1,344
	8 北陸自動車道富山高速道路事務所	㈱手島建築設計事務所	佐藤・川田 JV	コラム H 構造	1,794
	7 CBRE IM 滋賀湖南	西松建設㈱一級建築士事務所	西松建設㈱	コラム H 構造	1,080
	8 北陸電気保安協会技センター・本店ビル	北電技術コンサルタント㈱	日本海建興㈱	コラム H 構造	1,013
	9 藤堂工業㈱富山事業所	スター総合建設㈱一級建築士事務所	佐藤工業㈱	コラム H 構造	170
	9 TMC-D 棟北側自動ラック倉庫増築	戸田建設㈱一級建築士事務所	戸田建設㈱	コラム H 構造	136
	YKK AP 30 ビル	㈱日本設計	前田建設工業㈱	コラム H 構造	1,116
2024年度	11 ムラテックメカトロニクス㈱滋賀事業所新第 3 工場	村田機械㈱一級建築士事務所	東洋建設㈱	コラム H 構造	2,106
	3 美女木物流センターⅡ増築	東洋建設㈱一級建築士事務所	東洋建設㈱	コラム H 構造	725
	5 E I Z O ㈱新 N 棟	戸田建設㈱一級建築士事務所	戸田建設㈱	コラム H 構造	2,046
	5 L I F E S E L E C T 高岡店 (ヤマダデンキ)	㈲高田建築設計	ウィルビー㈱	コラム H 構造	2,743
	6 北酸㈱総合ガスセンター増築	タカノ建設一級建築士事務所	タカノ建設㈱	コラム H 構造	72
	7 ㈱笹倉製作所 新工場	スター総合建設㈱一級建築士事務所	スター総合建設㈱	コラム H 構造	106
	8 昭和図書㈱戸田物流センター建替	東洋建設㈱一級建築士事務所	東洋建設㈱	コラム H 構造	2,825



富士化学工業㈱新規製剤棟



北陸電気保安協会技センター・本店ビル (提供：日本海建興)

(2) 太陽光発電事業

当社は現在 3 か所で太陽光発電事業を展開しており、年間 125 万 kWh の発電量を確保。再生可能エネルギー創出による GHG 排出量抑制に貢献している。

本社にて 3 箇所の発電所を一元管理している。

設置箇所
① 富山市万願寺太陽光発電所
② 当社第 4 工場屋上
③ 当社第 2・3 工場屋上

【一例】



富山市万願寺太陽光発電所

富山市万願寺太陽光発電所

所在地：富山市万願寺

敷地面積：14,607 m²

発電出力：1,015MW
(250W／4,060 枚)



本社太陽光システム合計画面



工場屋根のソーラーパネル

4. 労働安全衛生・品質方針・環境方針

(1) 労働安全衛生

労働安全衛生については注意喚起の無災害記録達成盤を設置するなど特段の配慮を行い、2000年12月23日～2003年10月20日、2013年3月6日～2016年3月13日にわたって1000日を達成している。



注意喚起の無災害記録達成盤

【安全大会の様子】



2025年6月1日から、労働安全衛生規則改正が施行され、熱中症対策が義務付けられ、当社としても休憩時のドリンク・塩飴支給、空調服の補助、スポットクーラーや散水の実施、WBGT指数掲示、注意喚起ポスター掲示など多角的な対策を実施している。

安全への当社独自の取り組みとしては、毎月「安全パトロール」に取り組んでいる。これは各部署から任意に10名程度を選出し、各人が所属部署以外の部署をチェックリストに基づき、抜き打

ちで検査する制度であり、検査結果は月末に開催される安全衛生委員会にて発表され、経営層とも共有しており、安全衛生強化に繋がっている。

上記取り組みなどの実施を通じて災害ゼロを目指し、「基本動作の徹底とルール遵守の最優先行動」、「確認徹底による思い込み事故の防止」、「作業前点検と整備の徹底、異常を見逃さない目」の3つの行動目標を宣言している。（以下、“安全の誓い”参照）

【安全の誓い】

全国安全週間は「人命尊重」という基本理念のもと、今年で98回目を迎えました。

労働災害のない、安全で働きやすい職場をつくることを目的とした週間です。

今年のスローガンは

『多様な仲間と 築く安全 未来の職場』

でした。

我々は、【一千日無災害】の安全目標を掲げていますが

現在、無災害記録は本日で439日とようやく中間地点に近づきました。

私たちは、「命を守る安全」を何よりも大切にし、

鉄骨加工に関するすべての工程で、災害ゼロを目指します。

2025年、私たちは以下のことを誓います。

- ・基本動作を徹底し、ルールを守ることを最優先に行動します。
- ・声かけ・確認を徹底し、思い込み・慣れによる事故を防ぎます。
- ・作業前点検・設備の整備を怠らず、「異常」を見逃さない目を持ちます。

私たちは、ひとつひとつの鉄骨が安全に建物を支えるように、

一人ひとりの意識と行動で全員の命と未来を守ります。

今年もゼロ災害を必ず達成し、

「安全・安心・信頼の鉄骨加工業」として誇りある仕事を続けてまいります。

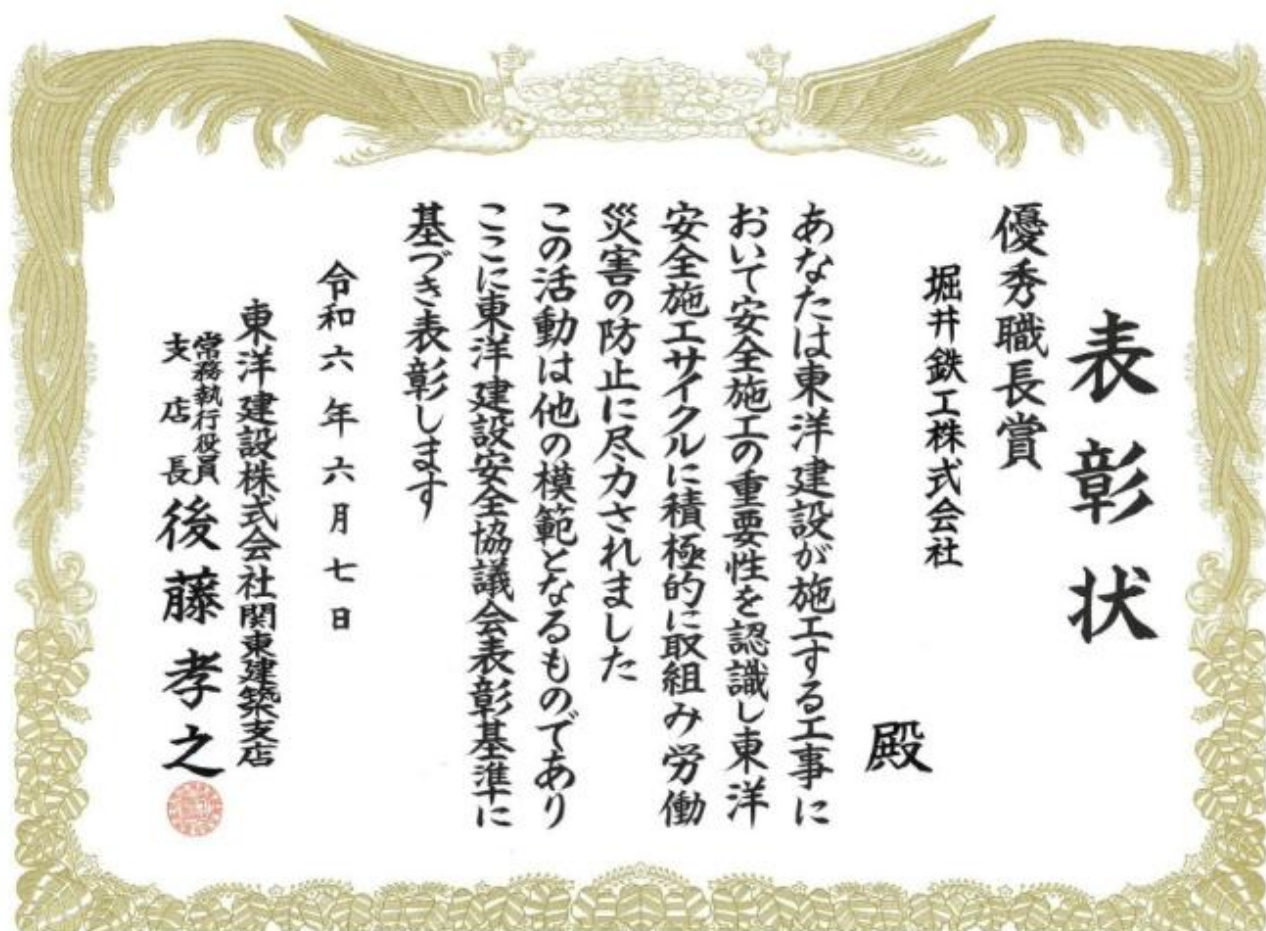
令和7年7月26日

社員代表

【お取引先：東洋建設株式会社様より優秀職長賞を受賞】

東洋建設様が主催する関東・関東建築安全衛生推進大会において当社担当課長が「DPR 新山下物流センター工事」での優秀職長賞を受賞。

この現場においては作業所自体が安全管理活動最優秀賞並びに統括安全衛生責任者優秀賞として作業所長も受賞しており、当社独自の安全管理活動への積極的な取り組みの結果他の模範と認められ表彰を受けている。



(2) 品質方針

当社は1979年4月に建設大臣認定（建設基準法などで定める技術的基準に適合していることを国が公式に認める制度）においてHグレードを取得。現在まで数回にわたって更新を重ねている。

また、2002年5月から品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得、継続を行い、高品質な施工に努めている。

【認定グレード区分と適用範囲】

当社認定領域					
区分	Sグレード	Hグレード	Mグレード	Rグレード	Jグレード
建物規模	超高層 大規模	高層 大規模	中高層 中規模	中層 中小規模	低層 小規模
高さ	制限なし	制限なし	制限なし	高さ20m以下 5階以下	高さ13m以下 軒高10m以下 3階以下
延床面積	制限なし	制限なし	制限なし	3,000㎡以内	500㎡以内
使用鋼材	強度	400N、490N 520N級鋼	400N級 490N級鋼	400N級 490N級鋼	400N級鋼
	板厚	60mm以下	40mm以下	25mm以下	60mm以下

注：株式会社全国鉄骨評価機構HP「認定グレード区分と適用範囲」
<https://www.zentetsuhyo.co.jp/appraise/grade.html>

【参考：北陸3県大臣認定取得工場数】

	富山県	石川県	福井県	全国
Sグレード	0	1	0	8
Hグレード	10	5	11	296
Mグレード	9	12	15	833
Rグレード	15	10	7	600
Jグレード	0	0	4	40

注：株式会社全国鉄骨評価機構HP「大臣認定取得工場数一覧」（2024年4月現在）より抽出
<https://www.zentetsuhyo.co.jp/search/factory.html>

【Hグレード認定書】

認 定 書

国 住 指 第 517 号
令和 7 年 6 月 10 日

堀井鉄工株式会社
代表取締役社長 堀井 鉄也 様

国土交通大臣 中野 洋行

下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行規則第1条の3第1項第一号イ及び同号ロ(1)の規定に適合するものであることを認める。

記

- 認定番号
TPBH-255986
- 認定をした構造方法等の名称
鉄骨製作工場において溶接された鉄骨の溶接部
- 認定をした構造方法等の内容
下記及び別添の「1.品質管理体制」による。
(1)鉄骨製作工場の名称及び所在地
①名称 堀井鉄工株式会社
②所在地 富山県富山市八町 6059-1
(2)適用範囲
① 建築鉄骨溶接構造の400N、490N及び520N級炭素鋼で板厚60mm以下の鋼材とする。ただし、隅先加工を施さない通しダイヤフラム、ベースプレート及びノンダイヤフラム形式柱梁接合部の厚肉パネルの板厚は、60mmを超えることができる。
② 作業条件は下向、横向及び立向姿勢とする。溶接技能者の資格は、SA-3F、SA-3H及びSA-3V又はA-3F、A-3H及びA-3Vとする。
③ 鋼種と溶接材料の組み合わせによる入熱及びバス間温度の管理値は、別添の「2.入熱・バス間温度」による。
④ 溶接方法、鋼種及び板厚の組み合わせによる予熱温度の管理値は、別添の「3.予熱管理」による。

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

【参考：性能評価規定における製作工場の要件】

- ① 品質管理責任者が組織上明確に位置付けられている。
- ② 当該グレードの資格要件を満たす管理技術者及び溶接技能者等が適切に配属されている。
- ③ 製作工程上の品質管理箇所と各管理技術者等の役割・分担が明確である。
- ④ 社内基準、製造整備及び検査設備の内容が当該グレードの必須条件を満足している。
- ⑤ 工作基準及び検査基準等の通りに、実際の作業及び諸管理が実施されている。
- ⑥ 品質管理が組織的且つ有効に機能している。
- ⑦ 良好な品質の鉄骨製品を安定的且つ継続的に製作することができる。
- ⑧ 適切な社内教育が実施されている。

【ISO9001 認証】



品質方針

『良くて安くて顧客の満足する品質を提供する』

お客様の満足を得る有益無害な製品を提供することは、企業の社会的責任の中で最も重要なことであり企業発展の基礎である。全従業員をあげて、この品質方針を徹底実践し経営効率を高め、利益を社員、株主、地域社会に還元する。

これらを実現するために、法・規制の遵守及び顧客要求事項への適合、品質マネジメントシステムの見直しを行い、継続的改善を図り更なる向上に努める。

平成16年 5月 26日

代表取締役社長 堀井鉄也

（３）環境方針

当社が従事する建設業界は、地球上の自然資源を使用して建造物を建設する。また、建設現場で使用する機械や車両は大量の二酸化炭素を放出する。加えて鉄骨製造過程において大量の電力を消費しており、クリーンな再生可能エネルギーへの転換は大きな課題であると当社は捉えている。

これらの背景もあり、当社は、CO₂排出量を大幅に削減するための「富山市環境モデル都市行動計画」に基づく、メガソーラーの誘致、太陽光発電設備の住宅・公共施設への設置促進など、再生可能エネルギーの普及や導入に向けた取り組みに賛同し、上記計画に参加。当社の具体的な取り組みとしては、前述の当社太陽光発電事業の内、富山市万願寺発電所は 2013 年 11 月に富山市公募のプロポーザル事業に当社が採択されたものである。

そのほか当社独自の取組として、第 4 工場及び同一棟の第 2・3 工場の屋上に売電用の太陽光発電設備を設置している。

当社はこれまで太陽光発電事業を通じて環境の保全と社会貢献に取り組み、再生可能エネルギーの普及促進と地域活性化に貢献している。

今後の当社方針としては、「自家発電用」の太陽光パネル設置による再生可能エネルギー活用強化であり、具体的な取り組みとしては、次年度以降に建設予定である自社工場屋上への太陽光パネル設置を予定している。

また、事務所棟・工場棟照明でも LED 化を進め、省エネ・CO₂排出量削減に貢献。未来の地球環境に配慮した事業運営を行っている。

【明るく快適な作業環境と省エネを実現】

長寿命、低電力（水銀灯の 1/5）、低発熱の環境にやさしい LED 照明を設置して、社内を明るく照らしている。



5. 職場環境など

(1) 働き方改革の推進と従業員満足度の向上

当社社員の働き方は、ゼネコン等の取引先の受注状況（時期・施工量の集中）及び当社への発注タイミングにより、労働時間を中心に大きく影響を受ける実態がある。

「改正労働基準法」では、月 45 時間・年 360 時間を原則的な時間外労働の上限とする他、臨時的な特別の事情があり、使用者と労働者が合意した場合でも、守らなければならない上限時間が定められた（特別条項）。

当社においては労働時間を、労働基準法第 32 条（週 40 時間以下、1 日 8 時間以下）に準拠する形で、1 日の労働時間を 8 時間とし、就業時間 7 時 50 分～17 時のうち、10 時から 10 分、12 時～12 時 50 分、15 時から 10 分の休憩を挟むこととし、制度運用の徹底を周知している。また、週に 2 日以上の日を付与する不完全週休 2 日制を採用した。

また、当社では、2024 年 11 月に事務所棟・厚生棟を改装して、事務所内 1・2 階とともにロッカー室、シャワー室・サロンを整備して労働環境の改善に取り組んでいる。

【改善後の職場環境の様子】



ジムルーム



ロッカー室



サロン



シャワー室



食堂

【省人化設備への積極投資】

当社では業界に先駆けて溶接ロボットを順次導入（下記参照）し、作業の安全性と迅速性、品質向上に努めてきた。

溶接ロボットは作業性がスピーディーかつ安定的で、作業場所を選ばないだけでなく、プログラム通りに無駄なく動き、溶接漏れなどもなく均一な作業で安定した品質が保たれる。また、社員の重量物への接触機会が減ることから、「3K（危険で汚れやすく体力的にもきつい）」と言われた溶接作業の安全性が格段に向上した。

省人化設備への投資の結果、従業員の安全・安心な職場環境の実現に繋がっている。

【溶接ロボットの導入経緯】

柱 1 号機 1997 年 5 月

柱 2 号機 1997 年 5 月

柱 3 号機 2003 年 8 月

柱 4 号機 2005 年 9 月

連結コラム 1 号機 2000 年 1 月

連結コラム 2 号機 2001 年 7 月

連結コラム 3 号機 2001 年 7 月

※上記ロボットは 3 度のリプレースを実施



溶接ロボット

（２）人材育成への取り組み

当社では、ISO9001 認証取得から派生し、2000 年より「若手勉強会」及び「部長会議」を開催し人材育成に取り組んでいる。若手勉強会では企業市民としての心構えや各部署の専門技術や各種資格取得について段階的にカリキュラムを組んで部門横断的な研修を行い、部長会議では部門横断的な課題解決策を話し合う他、管理職研修などを行っている。



部長会議



若手勉強会

【AW 検定取得の積極推進】

AW 検定＝アーク溶接検定であり、日本溶接協会（JWES）が実施する建設鉄骨溶接技量に関する技能検定試験のことである。

AW 検定は建設鉄工溶接における最高峰の資格であり、企業としては AW 検定保有者の有無は元請やゼネコンからの信頼に直結する。

溶接工にとっては高い技術力の証明になり、技術者としての誇りやモチベーションに繋がる。

当社は AW 検定取得に係る費用の全額負担や、有資格者への資格給などにより、資格取得に向けた支援を積極的に行っている。

(3) 福利厚生の実効に向けて

当社では、安全衛生体制の構築とともに、従業員の福利厚生の整備・充実を図っており、種々の取り組みを実践している。

【社員旅行の実効】

社員旅行については1979年9月から取り組んでおり、社内のコミュニケーションの深耕や組織の活性化の一助となっている。

班分けや旅行先を複数設定することで従業員はほぼ全員が参加し、交流や意思疎通の機会に繋がっている。

【社員旅行の形跡】

旅行日程	旅行先
1979(昭54)	9.1～2 越前海岸と片山津温泉
1980	10.3～4 京都・有馬・神戸の旅
1981	10.1～3 日光と伊香保温泉
1982	10.1～2 加賀の旅
1983	10.6～8 伊豆半島周遊の旅
1984	8.30～9.1 南紀周遊と白浜の旅
1985	9.5～7 伊勢志摩めぐりの旅
1986	10.2～4 中尊寺と松島めぐり
1987	10.2～3 秋の信州路
1988	10.6～8 瀬戸大橋と姫路の旅
1989	10.6～7 世界デザイン博と長島温泉
1990(平2)	10.4～7 長崎(旅博覧会)と柳川舟下りの西九州の旅
1991	10.10～12 秋の北海道の旅
1992	10.8～10 神戸・大阪・京都の旅
1993	10.8～9 中能登めぐりと輪島朝市
1994	9.24～26 韓国研修旅行
1995	9.8～9 志摩スペイン村と伊勢志摩
1996	10.4～5 東京・横浜の旅
1997	9.19～22 シンガポール
1998	10.16～17 東京ディズニーランドと葛飾柴又
1999	9.9～11 札幌・小樽・洞爺湖温泉をめぐる道央満喫の旅
2000	9.22～23 滋賀・京都の満喫の旅
2001	10.26～28 ユニバーサルスタジオと神戸をめぐる3日間
2002	9.11～12 加賀百万石博と和倉温泉
2003	8.1～2 月岡温泉と寺泊
2004	10.8～9 加賀温泉郷の旅2日間
2005	7.3～5 沖縄本島周遊の3日間
	9.4～6 札幌・函館の3日間
2006	7.6～8 博多・雲仙温泉の3日間 (上段:小松発 下段:富山発)
	7.6～8 沖縄本島周遊の3日間
2007	6.24～26 沖縄・石垣島の3日間
	8.26～28 上海の3日間
2008	6.26～28
	7.10～12 鹿児島・指宿温泉と東京都内2泊3日
	7.31～8.2

旅行日程	旅行先
2009	7.3～4
	7.17～18 東京都内一泊二日の旅
2010	— (不況のため雇用調整)
2011	— (不況のため雇用調整)
2012	— (工程の都合によりキャンセル)
2013	— (労災・交通事故でキャンセル)
2014	6.1～2 安全大会と懇親会
	6.21～22 安全大会と懇親会
2015	3.30～4.3 ハワイ 3泊5日
	5.22～26 ハワイ 3泊5日
	6.20 庄川峡(旅行不参加者)
2016	5.18～22 シンガポール
	5.20～21 東京 JFE(川崎)
	5.27～28 東京 JFE(川崎)
2017	11.14～16 福岡・広島2泊3日
	11.20～22 安芸の宮島・大和ミュージアムなど
2018	— (工程の都合により中止)
2019	3.27～3.31 シンガポール 5日間
	7.4～7 道東周遊の3泊4日(知床・網走・札幌)
	8/.3～6 登別温泉・旭山動物園(富良野・美瑛)
2020(令2)	— (コロナ禍により中止)
2021	— (コロナ禍により中止)
2022	— (コロナ禍により中止)
2023	8.21～23 ユニバーサル大阪 2泊3日
	9.8～11 札幌・函館 3泊4日
	10.19～21 別府温泉・湯布院温泉 2泊3日
	11.12～15 屋久島(トレッキング・観光) 3泊4日
2024	7.4～7 箱根・鎌倉・横浜・東京 3泊4日
	7.27～30 東京ディズニーランド 3泊4日
	9.4～8 ハワイ 3泊5日



屋久島(2023年)



ハワイ(2024年)

【新年会の様子】

恒例の新年会、新型コロナウイルスの影響もあり、3年ぶりに開催。



【暑気払いの様子】

安全大会終了後、日頃の猛暑のなか日々、安全に業務に取り組んでいる社員の労をねぎらい、懇親会を兼ねた暑気払いを開催。



【参考：従業員の推移】

前述の取引先への高品質な製品の提供、働く環境の整備、人材育成、福利厚生 of 充実など種々の取り組みにより、当社の従業員数は安定推移している。



6. インパクトの特定

(1) インパクトレーダーによるマッピング

当社のバリューチェーン分析の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査。

当社の主要事業は、国際産業標準分類に則り、「構造用金属製品製造業(2511)」を適用した。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

		川上の事業		当社の事業		川上の事業	
国際産業標準分類		【4662】		【2511】		【4100】	
		金属及び金属鉱石卸売業		構造用金属製品製造業		建築工事業	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）						
	食糧						
	住居					◆◆	
	健康・衛生					◆	◆
	教育						
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー					◆	◆
	移動手段						
	情報						
	文化・伝統						◆
	人格と人の安全保障						◆
	正義・公正						
環境	強固な制度・平和・安定						
	水（質）		◆		◆		◆
	大気		◆		◆		◆
	土壌						
	生物多様性と生態系サービス		◆				◆
	資源効率・安全性				◆		◆
経済	気候		◆		◆		◆◆
	廃棄物		◆		◆		◆◆
	包括的で健全な経済	◆		◆		◆	
	経済収束					◆	

■鉄骨製品製造・販売部門（構造用金属製品製造業）

インパクトマッピングにおいて、一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「雇用」「包括的で健全な経済」、ネガティブでは「雇用」「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられる。

当社の事業と関連性の強いカテゴリーを中心に検討を行う。

【経済面】

当社は創業以来、一貫して鉄工製造・販売を行っており、富山県におけるランドマークの建設に寄与してきた。

鉄骨構造物は社会の重要なインフラであり、経済を支える根幹である。また、人々の日々の生活にも密接に関わっている。

前述の通り、当社が鉄骨製造を行う工場は国土交通大臣グレード認定において上から2番目のHグレードを取得。グレードが高い工場ほど、強度が高く、板厚が厚い鋼材を取り扱うことができるため、日本国内の種々の建築需要に対応することができる他、高い品質管理が求められる点から安心・安全な鉄骨製品の提供を実現している。

また、当社は自前で設計部門を有しており、施主からの急な仕様変更などの要請にも柔軟に対応可能。加えて、これまで培ってきた設計ノウハウを活用した最適な仕様提案は、建設コストの削減にも繋がる。

当社製品の供給を通じて耐震性・耐久性に優れ、且つ、施主の希望を実現した低コストな建物建築に寄与。建設業界のサプライチェーンに貢献し、「包括的で健全な経済」におけるポジティブインパクトの拡大に寄与している。

【社会面】

「雇用」において、安定雇用を通じて生計へのポジティブな影響がある一方、労働者の健康面と安全性のリスク等のネガティブな影響がある。

当社では働き方改革の推進を図り、従業員満足度の向上に積極的に取り組んでいる。

また、省人化に向けた設備投資も積極的に行っており、従業員が安全で働きやすい環境づくりに努めており、ネガティブな影響の削減に取り組んでいる。

【環境面】

「気候」については今後建設予定の自社工場への自家発電用太陽光パネルの設置による再生可能エネルギーの導入及びLED化による省エネを通じたCO₂排出量削減に取り組む。

「廃棄物」及び「資源効率・安全性」については、鋼材の切断・加工時に発生する端材を選別・回収し、再資源化への取り組みを実施。製造工程で使用する作業油についても循環使用し、廃棄量の削減に努めている。

尚、「水（質）」「大気」については当社事業と関係が希薄のため分析対象外とする。

(2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール

当社の売上高は全て日本における事業であり、日本の SDGs ダッシュボードから当社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高い SDGs は下記となる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs のゴール 5 項目のうち、1 項目が大きな課題が残る、3 項目が重要な課題が残る、1 項目が課題が残る項目である。日本に課題が残る項目が 5 項目 4 項目該当していることから、日本における当社のインパクトは重要度が高いと判断する。

Japan

OECD member



BACK OVERVIEW INDICATORS FACT SHEET POLICY EFFORTS

SDG Index Rank

19 / 167

SDG Index Score

80.66

Spillover Score

75.18

SDG Dashboards and Trends

Click on a goal to view more information.



Dashboards: ● SDG achieved ● Challenges remain ● Significant challenges remain ● Major challenges remain ● Information unavailable
Trends: ↑ On track or maintaining SDG achievement → Moderately improving → Stagnating ↓ Decreasing ** Trend information unavailable

出典：SDGs ダッシュボード

(4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略との確認～

富山県は、約 4,248 ㎢の広さを有し、医薬品や機械、電子部品等を中心としたものづくり産業が盛んな日本海側有数の中核都市として発展してきた。水深 1,000m の「海の幸の宝庫」富山湾から 3,000m 級の北アルプス立山連峰まで、自然豊かな多様な地勢を誇り、広大な森林面積や全国有数の水力資源、地熱資源に恵まれ再生可能エネルギーのポテンシャル（潜在可能性）が高いことも特徴である。

人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、このような地勢を背景として、富山県では本県の自然、文化産業など各地域の特色、強みを活かした持続可能で活力ある未来を想像するため、平成 27 年 10 月から「とやま未来創生戦略」を、令和 2 年度から「第 2 期とやま未来創生戦略」を策定した。

第 2 期とやま未来創生戦略は、基本目標 1. 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備、基本目標 2. 産業振興、若者の雇用創出、観光振興、県内への移住促進、基本目標 3. 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上、基本目標 4. 活力のあるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりを掲げている。

基本目標 4 の活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりにおける、③持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくりでは、豊かで快適な環境づくりと安全・安心の確保を掲げており、当社が行う高品質な鉄骨製品製造を通じた建物インフラ整備への関与はまさに富山県が目指す地域の環境づくりに合致しており、富山県の目指す「持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり」に大きく貢献している。

また、当社の職場環境の面では積極的な採用や従業員のスキルアップ支援、先端技術・設備の積極導入を行っており、これらは富山県が基本目標 3 の中に掲げる多様な人材の確保・育成、労働生産性の向上に寄与する取り組みと言える。

基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備 ① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進 (ア) 結婚・妊娠・出産支援 ○結婚を希望する男女の出会いの場の提供 ○ライフプラン教育の充実 ○若者・女性を中心とした移住・Uターン促進 ○妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備 (イ) 家庭・地域における子育て支援 ○多様な保育・子育て支援サービスの充実 ○子育て支援人材の育成 ○子育て家庭の経済的負担の軽減 (ウ) 職場における子育て支援 ○仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進 ② 働き方改革を通じた働きやすい生活の実現による少子化対策の推進 (ア) 長時間労働の是正や柔軟な働き方の推進など働き方改革の推進 (イ) 男性の家事・育児参加の促進	基本目標 2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進 ① 産業・地域経済の活性化 (ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成 (イ) 中小・小規模企業の振興 (ウ) 企業立地等の促進 (エ) 森林水産業の振興 (オ) 環境・エネルギー産業の育成 ② 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり (ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進 (イ) 高等教育機関の魅力向上 (ウ) 地域の魅力創出 ③ 観光の振興 (ア) 選ばれ続ける観光地づくり (イ) 富山のブランド力アップ ④ 移住・定住の環境づくり、関係人口の創出・拡大等 (ア) 移住・定住の環境づくり (イ) 関係人口の創出・拡大	基本目標 3 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上 ① 若者や女性が輝いて働ける環境づくり (ア) 若者がチャレンジし活躍できる環境づくり (イ) 様々な分野で活躍できる女性人材育成 (ウ) 女性の再就職支援 ② 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現 (ア) 元気な高齢者が活躍するための支援 (イ) 誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出 ③ 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり (ア) 外国人材活躍の促進 (イ) 多文化共生の地域づくり ④ 多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上 (ア) 多様な人材の確保 (イ) ものづくり分野や観光分野などでの人材育成 (ウ) 働き方改革を通じた労働生産性の向上 (エ) 産業の高度化・高付加価値化の支援を通じた労働生産性の向上	基本目標 4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり ① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり (ア) 陸・海・空の交通基盤整備 (イ) 快適で活力ある魅力的なまちづくり ② 人生 100 年時代を見据えた人づくり (ア) 健康寿命の延伸 (イ) 医療や福祉の充実 (ウ) 教育力の向上 (エ) 未来を拓く人材育成 (オ) リカレント教育の推進 (カ) 生涯にわたる学びの推進 (キ) 「心の充ち」を醸成する文化の振興 ③ 持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり (ア) 豊かで快適な環境づくり (イ) 安全・安心の確保 ④ 豊かで魅力ある中山間地域の実現 (ア) 地域コミュニティの活性化 (イ) 地域経済の活性化 (ウ) 住民生活に必要な不可欠サービスの確保
---	--	---	---

出典：富山県第 2 期未来創生戦略

(5) インパクトの特定

- 安心・安全なインフラ整備を通じた地域社会への貢献
- 環境負荷軽減に向けた取り組みの強化
- 全従業員がより働きがいを持ち、スキルアップできる職場環境の構築

(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社のバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや富山県のみらい未来創生戦略のニーズや方向性等を踏まえて、当社と特に関連性の高いインパクトを整理。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「安心・安全なインフラ整備を通じた地域社会への貢献」「環境負荷軽減に向けた取り組みの強化」「全従業員が働きがいを持ち、スキルアップできる職場環境の構築」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「安心・安全なインフラ整備を通じた地域社会への貢献」では、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」という観点で、「環境負荷軽減に向けた取り組みの強化」では「3.環境保全」という観点で、「全従業員が働きがいを持ち、スキルアップできる職場環境の構築」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取り組みの支援を目指す。

7. KPI の設定

● 安心・安全なインフラ整備を通じた地域社会への貢献

当社は、ゼネコンが手掛ける大型の商業施設や物流施設、公共施設への鉄骨製品提供を通じて社会への貢献を目指す。社会インフラは経済活動を支える重要な要素であり、経済面への寄与も大きい。

数少ないHグレード工場を有する企業として当社が製造する鉄骨製品は、大型且つ強度の高い製品である。当社製品の供給を通じて、安心・安全なインフラ整備に貢献していく。

また、当社は今後富山県内の建設事業への取り組みを強化し、売上増加を目指す。地元富山県へのインフラ整備、特に当社では富山県のランドマークとなるような建築物への関与を通じて、富山の発展に寄与したいと考えている。

項目	内容
インパクトの種類	経済面のポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「包括的で健全な経済」
関連 SDGs	 
対応方針	全体の売上を拡大するなかでも富山県内工事案件の受注を拡大し、県内の建設業界サプライチェーンに貢献する
KPI	2028 年 2 月期における売上高を 70 億円とする（2025 年 2 月期：55 億円） 2028 年 2 月期における富山県内工事売上高を 25 億円とする（直近 3 期の平均売上：約 13 億円） いずれも以降は改めて目標設定する

● 環境負荷軽減に向けた取り組みの強化

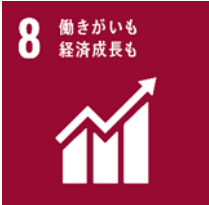
当社は 2026 年に着工予定の新工場の屋根に自家発電用の太陽光発電システムを導入予定。サステナブル経営の実現に向けて、環境負荷軽減への能動的な取り組みを進めている。

今後も本業の拡大と同時に、持続可能な会社であり続けるために、環境面への配慮を維持・強化していく。

項目	内容
インパクトの種類	環境面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「気候」
関連 SDGs	 
対応方針	売上高拡大のなかでも電力使用量削減を進める 2027 年竣工予定の新工場の屋根に自家発電用の太陽光発電システムを導入する
KPI	2030 年 2 月期までに電力使用量を 2025 年 2 月期対比で 5%以上削減する（2025 年 2 月期実績：1,114,749kW） 2028 年 2 月期までに容量 500kW の自家用太陽光発電設備を導入する（導入実績なし）

● 全従業員がより働きがいを持ち、スキルアップできる職場環境の構築

当社においては全従業員が働きがいを持ち、高いモチベーションで働いていける職場環境を構築することで人材確保に努めている。また、従業員の資格取得やスキルアップは個々のモチベーションだけでなく、製造する製品の品質にも直結することから会社全体の業績にも寄与。会社として、従業員のスキルアップ支援、従業員の心身の健康に配慮した働きやすい職場環境の実現を目指していく。

項目	内容
インパクトの種類	社会面のポジティブインパクトの拡大 社会面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連 SDGs	
対応方針	建築物の安全性確保に資する資格の取得支援を通じた従業員のスキルアップ 毎月安全パトロールを実施（安全当番を任意に選抜し、すべての部署の安全への取り組みをチェック）し、安全衛生委員会に報告することで現場・本部が一体となって労災撲滅を目指す
KPI	AW 検定（※）有資格者を毎年度 1 名ずつ増加させる（2025 年 7 月末時点：17 名） ※Architectural Welding 検定：建築鉄骨の溶接に関する技術検定 労災事故件数ゼロを継続する（2024 年 6 月以降ゼロ）

8. 管理体制とモニタリング

(1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役社長の堀井鉄也様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、村本総務部長様が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役社長 堀井鉄也
管理責任者	総務部 部長 村本裕一
管理部署	総務部

(2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施する他、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金及びその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が堀井鉄工株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）

TEL (076) 461-3871